

鷹の羽温泉 ☎0172-44-4526 平賀地域	平賀観光温泉 ☎0172-44-8585 平賀地域	みどりの天然温泉 新屋温泉 ☎0172-44-8767 平賀地域	唐竹温泉 ☎0172-44-3748 平賀地域	松崎温泉 ☎0172-44-8251 平賀地域
花の湯 ☎0172-49-7311 平賀地域	館田温泉 ☎0172-44-8565 平賀地域	さるか荘 ☎0172-57-5316 尾上地域	津軽おのえ温泉 日帰り宿 福家 ☎0172-55-0200 尾上地域	大和温泉 ☎0172-57-2852 尾上地域
碓ヶ関温泉会館 ☎0172-45-2226 碓ヶ関地域	古懸コミュニティ浴場 ☎0172-45-2300 碓ヶ関地域	久吉たけのこ温泉 ☎0172-46-2117 碓ヶ関地域	道の駅いかりがせき 関の庄温泉 ☎0172-46-9355 碓ヶ関地域	津軽のお宿 南田温泉ホテルアップランド ☎0172-44-3711 平賀地域
大坊温泉 ☎0172-44-3059 平賀地域	柏木温泉 ☎0172-44-7600 平賀地域	からんころん温泉 ☎0172-44-4210 平賀地域	温川山荘 ☎090-2450-3852 平賀地域	つがる温泉 ☎0172-57-4511 尾上地域
古遠部温泉 ☎0172-46-2533 碓ヶ関地域	羽州路の宿 あいのり ☎0172-49-5005 碓ヶ関地域	美足の湯 (ホテルアップランド) 平賀地域	蓮観の足湯 (さるか荘) 尾上地域	左:大名足湯 右:足軽足湯 (関の庄温泉) 碓ヶ関地域

記号詳細 食事 買い物 駐車場 トイレ 障害者 トイレ 温泉 宿泊 足湯 ATM ガソリンスタンド 病院 調剤薬局 おすすめ名所

「COCOAR2」で動画を見る。

スマートフォン・タブレット端末を利用し、無料ARアプリ「COCOAR2」を印刷物の写真部分にかざすことで、動画を閲覧可能です。
※iOSはApp Storeから、AndroidはGoogle Playストアから「COCOAR2」を検索インストールしてください。



お問い合わせ 平川市経済部商工観光課
TEL.0172-44-1111 (内線) 2183 FAX.0172-43-5005

平川市 検索

むらかみ案内

地域に触れ、心温まる思い出を持ち帰ってほしい！の願いを込めて、ガイド(むらかわ案内人)がご案内します。地域ごとに四季折々の表情が楽しめ、どのコースを歩いてみても、発見や感動に出会い、充実のひとつときを過ごせます。



お問い合わせ先
平川市観光協会
TEL.0172-40-2231



ちよつと足をむいて、新しい感動が見えてきます。

むらかわ

むらかわ





平川市マップ

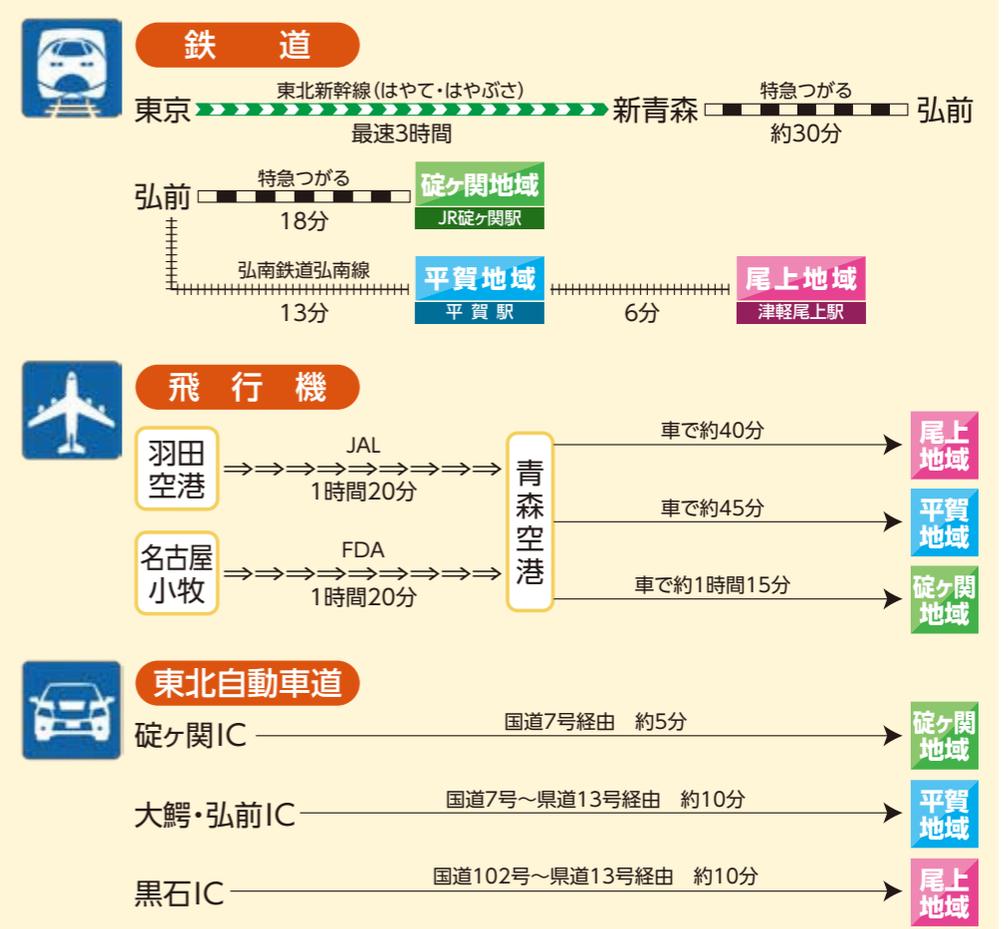
ご利用下さい

平賀ハイヤー TEL.0172-44-2731

昭和タクシー TEL.0172-46-2121



交通アクセス



イベントカレンダー



市の概要

青森県南部、津軽平野の南東部に位置し、東は十和田湖を境にして十和田市、秋田県小坂町、西は平川を隔てて弘前市、大鰐町と接し、北は青森市、黒石市、田舎館村、南は大館市に接した錨型をなしています。

この地域における稲作栽培は弥生時代中頃に始まっていたと考えられており、古来より肥沃な穀倉地帯として栄え、発展してきた経緯があります。

現在の平川市は、鎌倉時代に区分された「平賀郡(ひらかのこおり)」に属しており、津軽4代藩主信政公により、「郡(こおり)」を「庄(しょう)」と替え「平賀庄」「田舎庄」「鼻和庄」の3庄をもって「津軽郡」となり、「平賀庄」として明治新政に至るまで続きました。

その後、度重なる町村合併を繰り返し、平成18年1月1日に「平賀町」「尾上町」「碓ヶ関村」の2町1村が青森県10番目の市として誕生しました。

平川市は、平地、台地、山地の3種類に大別されます。津軽平野の一部で市街地が形成されており、水田地帯として利用されている平地は、肥沃な沖積土で岩木川水系の平川とその支流である浅瀬石川の2つの川の恵みを受けています。緩やかな傾斜地から台地では主にりんご栽培が盛んに行われています。また、市の総面積において約7割を占める山林は、そのほとんどが国有林となっており、櫛ヶ峰(標高1,517m)を中心とした南八甲田連峰の山地には、湿原地もあり、その美しい自然環境は十和田八幡平国立公園に指定されています。

平賀 まち歩き “りんご”と“いて湯”、自然が広がる「まち」。

空撮でのムービー・パノラマも楽しめます。スマートフォンにて確認してください。このマークの箇所をアプリで撮影してください。詳しくは裏面を参照



まち歩き 探索コースモデル

ねぶたコース
所要時間/35分

平賀駅発
↓
ねぶた展示館
↓
産直センターひらか
↓
平賀駅到着

足をのばして…

ねぶた展示館
▼車で10分
広船観光りんご園
▼車で5分
志賀坊森林公園

1 櫻屋

ボリューム満点の「海鮮丼」や日替わりランチが人気です。
※定休日/第1・3日曜
☎0172-44-6162

2 そばや

豊富なメニューのなかでも期間限定の「そば冷麺」(6~10月)がオススメです。
※定休日/火曜 第2日曜(昼)
☎0172-44-8259

3 食彩道

昼はランチが大人気。夜には居酒屋としても楽しめます。
※ランチ休/土・日・祝
☎0172-44-4545

1 世界一の扇ねぶた(ねぶた展示館)

■ねぶたまつり
青森県津軽地方の8月は至る所でねぶたまつりが見られ、夏の風物詩となっています。平川市でも毎年、8月2・3日に「平川ねぶたまつり」が開催され、およそ30台のねぶたが練り歩き、多くの観客で賑わいます。平川ねぶたの特徴は鮮やかな衣装を纏ったり花笠をつけたりして着飾り、それぞれ異なる踊りを披露するため、ねぶたを見る以外にも楽しめます。また、もう一つの特徴はねぶた囃子です。自然と体が弾むような躍動感あふれる音色とともに、心に強く響く太鼓の迫力が祭りの気分をより一層かきたてます。そして最後尾を務めるねぶたが「世界一の扇ねぶた」です。道幅をいっぱいを使い、観客をも蹴散らすような堂々たる姿はまさに圧巻です。

平成10年に観光の目玉になるようにと作られました。平均的なねぶたの高さは6~8mという中で、このねぶたは11mという世界一の高さを誇ります。また、水墨画調で描かれたねぶた絵も珍しく、毎年張り替えられます。ねぶた展示館に常時展示され、自由に見学することができます。

■入館料/無料 ■開館時間/8:30~16:30
■休館日/6月中旬~7月中旬(ねぶた絵貼り替え期間)
■問い合わせ/平川市経済部商工観光課 ☎0172-44-1111

2 志賀坊森林公園

豊かな穀倉地帯である広大な津軽平野を一望でき、ここから眺める岩木山の姿は津軽ともいわれて日暮れとともに岩木山がくっきりとしたシルエットとなって浮かび、街並みに灯りが灯る光景は特に美しく、一見する価値があります。また、遊歩道を少し歩くと、カタクリの花や太鼓のバチなどに使われる「下口の木」あり、ハイキングやピクニックには絶好の場所です。

■開園期間/4月下旬~11月上旬
■問い合わせ/管理棟 ☎0172-44-2941

3 白岩森林公園

136haの広大な白岩森林公園。その中でも雪と見間違ふほど真っ白な岩肌は、四季折々の景色とのコントラストが美しく、特に夕陽を浴びて茜色に染まると一段と神秘的です。八甲田連峰が望める展望台まで、草花や森林浴を楽しみながらトレッキングできる遊歩道、キャンプ場やフィールドアスレチックの設備もあり、家族や友人でのアウトドアにおすすです。

■開園期間/4月下旬~11月上旬
■問い合わせ/管理棟 ☎0172-44-2611

観光農園

広船観光りんご園

■期間/9月上旬~10月末
■時間/午前9時~午後4時
■問合せ先/0172-44-5284
■入園料 小学生以上お一人100円
お持ち帰り100g・200円(量り売り)
※収穫物は全量お持ち帰りいただけます。

平田森ブルーベリー園

■期間/7月中旬~8月中旬
■時間/午前9時~午後4時
■問合せ先/0172-44-7420
■入園料 第一農園 800円(大人)・400円(小人)
第二農園 1000円(大人)・500円(小人)

あすなるブルーベリー園

■期間/7月上旬~
■時間/午前8時30分~午後4時30分
■問合せ先/0172-44-1159
■入園料 大人500円 小人300円
(1kg以上お持ち帰りの方入園料無料)

兼春さくらんぼ園

■期間/6月中旬~
■時間/午前9時~午後5時
■問合せ先/0172-44-1159
■入園料 大人500円 小人300円
(1kg以上お持ち帰りの方入園料無料)

尾上地域マップ “生け垣”と“庭園”が広がる緑あふれる「まち」。



空撮でのムービー・パノラマも楽しめます。スマートフォンにて確認してください。このマークの箇所をアプリで撮影してください。詳しくは裏面を参照

まちな歩き
探索コースモデル
生け垣と庭園散策コース
 所要時間/75分
 津軽尾上駅発
 生け垣ロード
 猿賀神社
 もてなしロマン館
 盛美園
 清藤氏書院庭園
 津軽尾上駅着

まちな歩き
探索コースモデル
商家とグルメコース
 所要時間/75分
 津軽尾上駅発
 田辺呉服店
 七柱神社
 香園(ラーメン)
 大十食堂(ラーメン)
 魚河岸(寿司)
 旧正井家(憩い亭)
 津軽尾上駅着

尾上地域マップ

尾上高校前駅 (弘南鉄道 弘南線)

津軽尾上駅 (至弘前駅)

1 盛美園
 明治時代の清藤家24代当主、清藤盛美はこの地域の戸長や村長を歴任。その一方で青森商業銀行や尾上銀行の創立にも参画し、やがて尾上銀行頭取に就任した人物。「盛美園」は、この盛美が明治35(1902)年から9年の歳月を費やして整備したものです。大石武学流4代宗匠の小幡亭樹を招いて作庭にあたらせた築山式枯山水・池泉廻遊式の日本庭園で、武学流の真髄を示した最高峰の名園として造園当時から高く評価されてきました。園内の一角にある盛美館は1階が純和風、2階が洋風の和洋折衷の珍しい建物で、庭園と融合した独特の美しさがあります。また、盛美館・盛美園の景観は、平成22(2010)年に公開されたスタジオジブリのアニメ映画作品『借りぐらしのアリエッティ』のモデルとされています。
 ■入園料/大人430円、中高生270円、小学生160円 ※団体料金あり
 ■開園時間/9:00~17:00(12月~3月は10:00~15:00) ■休園日/年末年始
 ■問い合わせ/☎0172-57-2020

2 清藤氏書院庭園
 鎌倉幕府5代執権・北条時頼の側室の唐系御前が鎌倉を去り、現在の藤崎町に居を構えることとなった時に同行した時頼の家臣であった清藤次郎盛秀が清藤家の始まりとされています。清藤家の代々の当主は地主として農業を営みながら商業・銀行創設等行政・政界にも通じ、地域の振興と発展に大きく貢献されてきました。清藤家24代盛美が明治初期に本部を建築し、書院庭園は江戸時代末期の作庭と考えられ、津軽地方に伝承される大石武学流の源流とみなされています。
 ■入館料/大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円
 ■開園時間/9:00~17:00 ■休園日/不定休
 ■問い合わせ/☎0172-57-2127

3 猿賀神社
 蝦夷征伐のため北上した坂上田村麻呂が、上毛野君田道命を祀り、大同2(807)年「深砂宮(神蛇宮)」として建立したと伝えられています。本殿は文政9(1826)年に造営された「流れ造り」によるもので県重要に指定されています。藩政時代に入り、津軽為信公により祈願所として定められ、農漁業、交通、眼の守護神として尊信されています。
 ■問い合わせ/☎0172-57-2016

4 猿賀公園
 6.3haの広い面積をもつ猿賀公園は、津軽富士と呼ばれる岩木山が一望できる和洋折衷の公園です。枯山水廻遊式の日本庭園は、静かな景観と落ち着きをあたえ、滝から流れる水はカスケード(階段状の流れ)を通り噴水広場へ集まります。春はソメイヨシノや八重桜が咲き誇り、夏は日本の北限といわれる「和蓮」が鏡ヶ池一面を彩ります。

5 生け垣
 尾上地域は、昔から植木や造園が盛んで、手入れの行き届いた多くの生け垣が整然と連なり、美しい街並みを形成しています。緑があふれる空間は「農村景観百選」に選ばれ、自然とあたたかみを感じ、まちの素直な横顔を垣間見ることができます。また、「生け垣を守り育てる条例」を制定し、美しい景観と緑化を推進しているのも、全国的に珍しいことです。

グルメ情報:
 1 大十食堂: 昔ながらの焼そばは自家製麺をラードで炒め、もちもちの食感。 ※定休日/月曜日 ☎0172-57-2022
 2 魚河岸(すし): 新鮮なネタと旨いシャリの店です。ランチも楽しめます。 ※定休日/水曜日 ☎0172-57-2015
 3 味の香園: 毎朝仕込む手打ちのちぢれ麺を使ったご当地ラーメンが人気。 ※定休日/水曜日 ☎0172-57-2145

1 盛美園

明治時代の清藤家24代当主、清藤盛美はこの地域の戸長や村長を歴任。その一方で青森商業銀行や尾上銀行の創立にも参画し、やがて尾上銀行頭取に就任した人物。「盛美園」は、この盛美が明治35(1902)年から9年の歳月を費やして整備したものです。大石武学流4代宗匠の小幡亭樹を招いて作庭にあたらせた築山式枯山水・池泉廻遊式の日本庭園で、武学流の真髄を示した最高峰の名園として造園当時から高く評価されてきました。園内の一角にある盛美館は1階が純和風、2階が洋風の和洋折衷の珍しい建物で、庭園と融合した独特の美しさがあります。また、盛美館・盛美園の景観は、平成22(2010)年に公開されたスタジオジブリのアニメ映画作品『借りぐらしのアリエッティ』のモデルとされています。
 ■入園料/大人430円、中高生270円、小学生160円 ※団体料金あり
 ■開園時間/9:00~17:00(12月~3月は10:00~15:00) ■休園日/年末年始
 ■問い合わせ/☎0172-57-2020

2 清藤氏書院庭園

鎌倉幕府5代執権・北条時頼の側室の唐系御前が鎌倉を去り、現在の藤崎町に居を構えることとなった時に同行した時頼の家臣であった清藤次郎盛秀が清藤家の始まりとされています。清藤家の代々の当主は地主として農業を営みながら商業・銀行創設等行政・政界にも通じ、地域の振興と発展に大きく貢献されてきました。清藤家24代盛美が明治初期に本部を建築し、書院庭園は江戸時代末期の作庭と考えられ、津軽地方に伝承される大石武学流の源流とみなされています。
 ■入館料/大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円
 ■開園時間/9:00~17:00 ■休園日/不定休
 ■問い合わせ/☎0172-57-2127

3 猿賀神社

蝦夷征伐のため北上した坂上田村麻呂が、上毛野君田道命を祀り、大同2(807)年「深砂宮(神蛇宮)」として建立したと伝えられています。本殿は文政9(1826)年に造営された「流れ造り」によるもので県重要に指定されています。藩政時代に入り、津軽為信公により祈願所として定められ、農漁業、交通、眼の守護神として尊信されています。
 ■問い合わせ/☎0172-57-2016

4 猿賀公園

6.3haの広い面積をもつ猿賀公園は、津軽富士と呼ばれる岩木山が一望できる和洋折衷の公園です。枯山水廻遊式の日本庭園は、静かな景観と落ち着きをあたえ、滝から流れる水はカスケード(階段状の流れ)を通り噴水広場へ集まります。春はソメイヨシノや八重桜が咲き誇り、夏は日本の北限といわれる「和蓮」が鏡ヶ池一面を彩ります。

5 生け垣

尾上地域は、昔から植木や造園が盛んで、手入れの行き届いた多くの生け垣が整然と連なり、美しい街並みを形成しています。緑があふれる空間は「農村景観百選」に選ばれ、自然とあたたかみを感じ、まちの素直な横顔を垣間見ることができます。また、「生け垣を守り育てる条例」を制定し、美しい景観と緑化を推進しているのも、全国的に珍しいことです。

まち歩き 探索コースモデル

歴史コース
所要時間/120分

JR碓ヶ関駅発
▼
三笠山公園
▼
古懸山不動院 国上寺
▼
道の駅いかりがせき 温泉
▼
JR碓ヶ関駅着

まち歩き 探索コースモデル

羽州街道矢立峠
所要時間/90分

峠下番所跡湯ノ沢口発
▼
吉田松陰漢詩碑
▼
矢立杉跡
▼
茶屋峠跡
▼
伊能忠敬測量隊記念碑
▼
明治天皇行幸碑跡
▼
イザベラバード記念碑
▼
峠下番所跡湯ノ沢口着



「歴史の道」矢立峠マップ

2 矢立峠に行きたい

1 三笠食堂
自然薯を練り込んだ各種ラーメンのほか定食や丼物など全体的にリーズナブルです。定休日/第2・4日曜日 ☎0172-45-2503

2 道の駅いかりがせき
辛さの中に甘酸っぱさのあるマルメロカレーに地元の野菜がたっぷり。 ☎0172-49-5020

1 道の駅いかりがせき

碓ヶ関という地名の由来でもある関所は、天正14(1586)年に津軽為信によって設けられたと伝わっています。藩政期を通じて非常に堅固な関所として知られ、幕府の記録に「嚴重なること箱根の関所も及ばない」との記述が残されています。

現在、「道の駅いかりがせき関の庄」内にある「御関所資料館」は当時の関所の姿を再現したもので、関所の2つの門を復元したモニュメントも設置されています。

また、駅内には、碓ヶ関地域のすべてがわかる展示コーナーやレストラン、青森ヒバを使い、トロンサウナを備えた大浴場や貸切風呂、足湯などが設置されており、多くの観光客が訪れています。

■営業時間/9:00~19:00(冬期は18:00まで) ■休業日/年末年始
■問い合わせ/☎0172-49-5020

2 羽州街道・矢立峠

羽州街道
江戸と自藩の往来で大名が通り、商業や参詣のために庶民で賑わい、奥州街道と並ぶ東北二大街道として発展しました。

街道は、福島県の桑折宿から宮城県・山形県・秋田県・矢立峠を越えて、碓ヶ関・大鰐・弘前・浪岡・青森の油川までの約500km、58宿がありました。13大名の参勤交代の道中路であり、現在の国道7号・13号に相当します。

その特定がむずかしくなっている。さまざまな峠の物語を残しています。「北行日記」によれば、峠ふもと木を足掛かりとして峠に登ったの境なりとあります。そのほかにバードなどが記録を残しているで、言っています。ただ、バードであったというから、明治新道を通っていたこととなります。

矢立峠
秋田県と津軽境の矢立峠そのものが実際の地点であったのか、今はませんが、藩政期から明治にかけては非常に多くの旅人が足跡を刻み、さま江戸後期の勤王家で、寛政の三奇人の一人とされた高山彦九郎の紀行の陣場から四十八川と称する川を幾度も渡り、一丁ばかりで坂にかかる横という。峠には大きな杉が一本、囲いの中にあつて、それが矢立の杉で藩も幕府巡見使に随行した古川古松軒や吉田松陰、英国人女性イザベラ・バードは「日本で見たどの峠よりもこの矢立峠を誉め讃えたい」とまが通ったのは明治11年の夏で、境の峠には砂岩を切った立派な方尖塔が通っていたこととなります。

1 伊能忠敬測量隊記念標

最初の測量旅行は寛政12年(1800年)、奥州街道から津軽半島を経由して蝦夷地に渡り、函館から根室付近まで行われた。2年後の享和2年(1802年)、忠敬は第3次測量において、大館から碓ヶ関に向けて矢立峠を越えている。

2 矢立杉

「元慶4年(880年)大館城主公家が津軽に軍を出し、橘吉明を討ち取り兵を引き上げる時、大杉の根元に弓一張り矢一雙を立て是れ納め置く、その頃より矢立杉という。大館の郷の古記にあり(菅江真澄「量産のまにまに」)矢立杉の由来の一説となっている。

3 吉田松陰漢詩碑

嘉永5年(1852年)2月、雪解けの矢立峠を越えた吉田松陰だが、長州藩からの過書手形(通行許可)の発行を待たず発ったため、松野他三郎と改名して東北を遊歴した。住民らから自然・歴史など熱心に聴き込み、矢立峠については「文化的景観」の代表地と評している。

4 イザベラ・バード

イギリス人女性旅行家として世界中を巡っていたイザベラ・バードは、明治11年(1878年)横浜に上陸すると日光・新潟・米沢を通り、秋田から矢立峠を踏んで青森・北海道へと探訪した。このときの著書「日本奥地紀行」の中で矢立峠を次のように紹介している。「私は日本で見たどの峠よりもこの峠を褒め称えたい。この峠はアルプスのブルーニツ峠の最も素晴らしいところと似ている。」



おみやげ

大地からのおどりもの



津 軽完熟林檎ジュース 白ラベル

株式会社スターリングフーズ
☎0172-57-5158
●営業時間/9:00~17:00
●定休日/土・日・祝日



津 軽完熟林檎ジュース 赤ラベル

株式会社スターリングフーズ
☎0172-57-5158
●営業時間/9:00~17:00
●定休日/土・日・祝日



津 軽平野のそばもやし

あすなろ理研(株)
☎0172-44-1159
●営業時間/8:00~17:00
●定休日/土・日・祝日



津 軽自然薯そば

碓ヶ関むらおこし事業協力会
☎0172-45-2044
●営業時間/8:15~17:00
●定休日/土・日・祝日



津 軽完熟林檎ジュース 紙パック

株式会社スターリングフーズ
☎0172-57-5158
●営業時間/9:00~17:00
●定休日/土・日・祝日



nora 青森りんごジュースふじブレンド

株式会社スターリングフーズ
☎0172-57-5158
●営業時間/9:00~17:00
●定休日/土・日・祝日



手焼きせんべい (カシューナッツ) (くるみせんべい)

中畑手焼きせんべい本舗
☎0172-44-3570



まるめる姫の甘ずっぱい恋

道の駅いかりがせき
☎0172-49-5020
●営業時間/
夏季(4~11月)9:00~19:00
冬季(12~3月)9:00~18:00
●定休日/年末年始



nora 青森りんごジャムセット

株式会社スターリングフーズ
☎0172-57-5158
●営業時間/9:00~17:00
●定休日/土・日・祝日



津 軽のフルーツ ビネガーもも酢

カネショウ(株)
☎0172-57-2121
●営業時間/9:00~17:00
●定休日/土・日・祝日



アップルケーキ

古川菓子舗
☎0172-57-2206
●営業時間/7:30~19:00
●定休日/なし

りんごの村

株式会社木村食品工業
☎0172-57-2731
●営業時間/8:00~17:00
●定休日/日・祝日



りんごの花茶

広船アップルクラブ
☎0172-44-4492



李平屋(のへいや)りんごカレー

株式会社木村食品工業
☎0172-57-2731
●営業時間/8:00~17:00
●定休日/日・祝日



八チミツ入りりんご酢

カネショウ(株)
☎0172-57-2121
●営業時間/9:00~17:00
●定休日/土・日・祝日



焼きりんご 1個入り

株式会社木村食品工業
☎0172-57-2731
●営業時間/8:00~17:00
●定休日/日・祝日



元祖おからこんにやく 津軽雪花 唐揚げ用

有カネ久越後屋商店
☎0172-57-5600
●営業時間/8:00~17:00
●定休日/日曜日



元祖おからこんにやく 津軽雪花

有カネ久越後屋商店
☎0172-57-5600
●営業時間/8:00~17:00
●定休日/日曜日

津軽の桃

- フロマージュ (ももさわ菓子舗)
- 桃の焼きドーナツ (菓子処 西谷) ☎0172-57-2240
- シューキュウブ (桃味) (菓子処 西谷)
- 桃のかくれんぼ (サンフェスタ) ☎0172-92-3366
- 桃水 (ももさわ菓子舗) ☎0172-44-2015
- スフレロール (菓子処 西谷)

おみやげ処

各QRコードを読み取り お店を検索

- JA津軽みらい尾上特産品直売所**
問い合わせ/0172-57-5510 交通/弘南鉄道津軽尾上駅から車で10分
営業時間/午前9時~午後6時 休日/年末年始 駐車場/20台
- JA津軽みらい産直センターひらか**
問い合わせ/0172-43-1831 交通/弘南鉄道平賀駅から車で5分
営業時間/午前8時~午後6時(1月~3月は午前8時30分~午後5時)
休日/年末年始 駐車場/50台
- ふるさとセンター**
問い合わせ/0172-57-4388 交通/弘南鉄道津軽尾上駅から徒歩15分
営業時間/午前9時~午後5時 休日/第3水曜日、11月~3月 駐車場/60台
- 道の駅いかりがせき文化観光館**
問い合わせ/0172-49-5020 交通/JR碓ヶ関駅から徒歩3分
営業時間/午前9時~午後7時(冬期は午後6時まで) 休日/年末年始 駐車場/100台
- 四季の蔵もてなしロマン館**
問い合わせ/0172-43-5610 交通/弘南鉄道津軽尾上駅から徒歩10分
営業時間/午前9時~午後5時(11月~3月は午後4時30分まで) 休日/年末年始 駐車場/20台